

看護師 業務負担軽減の取り組み

◆ 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する責任者

副院長 宮島一郎

◆ 看護職員の勤務状況の管理

- ・ 週平均40時間以内
- ・ 勤務状況、有給取得率、時間外業務の把握
- ・ 16時間未満となる夜勤時間の設定

◆ 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議

- ・ 業務負担軽減推進委員会（年3回）

◆ 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

- ・ 日勤帯職員及び夜勤帯職員のズボンの色を変更
- ・ 看護職員と他職種との業務分担
- ・ 短時間正規雇用の看護職員の活用
- ・ 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮
- ・ 看護補助者の配置
- ・ 多様な勤務形態の導入
- ・ 夜勤負担の軽減
- ・ ベースアップの実施

◆ 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理

- ・ 11時間以上の勤務間隔の確保
- ・ 早出・遅出等の柔軟な勤務体制の工夫
- ・ みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上
- ・ 正循環の交代周期の確保
- ・ 看護補助者の夜間配置
- ・ 夜間保育所の設置

【 2025年度 多職種連携の具体的な内容 】

● 薬剤師

- ・ 薬剤師が継続的確保が可能な場合は、ロング日勤対応曜日の順次、拡充の検討

● 臨床検査技師

- ・ 臨時及び緊急検査依頼に対する代行オーダー入力
- ・ 入院患者における呼吸機能試験に関連した吸入準備及び施行

● 診療放射技師

- ・ 令和6年度から継続し、研修会への参加を促す。特にCTCにおける送気カテーテル挿入を行う

● 臨床工学技士

- ・ 手術部CEの増員
- ・ 外来内視鏡室CEの増員
- ・ 救急外来への派遣

● 管理栄養士

- ・ 食事箋変更に対する代行オーダー入力

● 理学療法士、作業療法士、言語療法士

- ・ 検温データ伝送システム導入後の地域包括ケア病棟入院患者におけるリハビリ前後に計測したバイタルサインの検温表入力

● 看護補助者

- ・ 看護補助者の人員減少により、業務を増やすことは不可能。
- ・ 看護師と重複している業務や不要な業務を年間5項目以上Pick upし、無駄を省くようシフトする。



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院